

# 東京ガス通信

2009秋冬号

株主の皆さまへ

2010年3月期 第2四半期  
(2009年4月1日～2009年9月30日)

エネルギー・フロンティア  
**TOKYO GAS**

- 1 決算ハイライト
- 2 トップメッセージ

5 特集

**Excellent Service**

～お客さま価値の向上を目指して

- 9 TOKYO GAS NEWS  
ゴーゴン・プロジェクトへの最終投資決定

「東京ガスライフバル」体制が完成

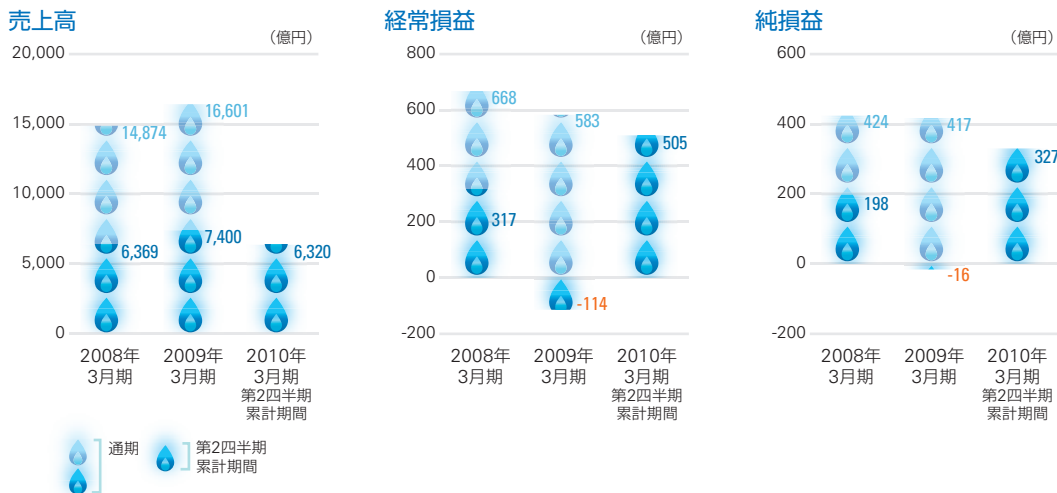
- 11 連結決算のご報告
- 13 東京ガス事典
- 14 会社情報



## 決算ハイライト

### 売上高前年同期比14.6%減、利益は改善

2010年3月期第2四半期累計期間（上半期）のガス販売量は、お客さまの設備稼働率の低下等により工業用需要が低迷したことから大幅に減少しました。一方、LNG（液化天然ガス）価格の低下等に伴い原料費が低減したことに加えて、費用抑制を図ったことにより、当上半期の売上高6,320億円（前年同期比14.6%減）に対し、経常利益は505億円、純利益は327億円となりました。



### （ご参考）東京ガス個別 ガス販売量月次データ（2009年4月～9月）

春先の高気温による給湯需要の減少や不況影響により、いずれの用途においてもガス販売量が減少しましたが、工業用は景気に連動し回復の兆しが表れています。また、夏場の平均気温が低かったことで、家庭用の給湯需要が増加した一方、商業用その他の空調需要が減少しました。

#### 用途別の対前年伸び率

(単月、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	期間合計
家庭用	▲0.6	▲6.2	▲11.0	▲3.7	7.8	0.4	▲3.1
商業用その他	4.4	▲3.3	0.6	▲0.4	▲2.2	▲13.3	▲2.8
工業用	▲21.2	▲27.0	▲19.6	▲15.2	▲8.9	▲15.4	▲17.9
卸供給	▲8.8	▲11.8	▲1.7	▲1.4	▲0.3	▲1.5	▲4.3
合計	▲9.4	▲15.1	▲11.0	▲7.8	▲3.6	▲10.5	▲9.6

## トップメッセージ

とりはら みつのり  
代表取締役社長 鳥原 光憲



# 「天然ガスをコアにした 総合エネルギー事業の進化・発展」に向けて

世界的な金融危機は収束に向かい、国内経済も今年の第1四半期にGDP伸び率がプラスに転じましたが、景気回復の道程は険しく、ガス販売量も工業用を主因として、昨年10月以来、前年割れを続けているなど、依然として先行きの見えにくい厳しい経営環境下にあります。

こうした中、東京ガスグループは「2009～2013年度グループ中期経営計画」に基づき、「環境を機軸とした価値創造 (Eco-friendly)」「お客さま価値の向上 (Excellent Service)」「マーケットの徹底深耕・拡大 (Expansion)」という「3つのE」に重点を置いた事業展開と、それらを実現するための「LNGバリューチェーンの強化」および「オー

ル東京ガスの総合力強化」を推進すべく着実に諸施策を実行し、「天然ガスをコアにした総合エネルギー事業の進化・発展」に向け邁進しています。

### 上半期の業績

#### 工業用ガス販売量は底入れ

当上半期は、景気低迷と天候要因を背景に連結ガス販売量が前年同期比8.4%減少しましたが、原料費低減の影響が大きく、ガス粗利益は改善し、減収増益となりました。また、工業用ガス販売量は、3月を底に（前年同月比31.3%減、個別）落ち込み度合いが縮小傾向となっています。

## トップメッセージ

### 通期業績

#### 利益改善の見通し

下半期においても引き続き厳しい経営環境が続くと思われませんが、工業用分野での景気の緩やかな回復傾向および営業努力の強化により、前回（7月30日）発表の通期販売量見通しを1億900万m<sup>3</sup>増の134億9,800万m<sup>3</sup>と上方修正いたしました。原料費の低下を反映した売上単価減少により通期売上高は対前期15.2%減の1兆4,070億円となるものの、重点施策を着実に遂行するとともに経費削減努力を継続し、経常利益は同23.4%増の720億円、当期純利益は同15.1%増の480億円と増益を見込んでおります。

株主の皆さまへの還元につきましては、中間配当を1株当たり4円とし、通年でも8円配当を継続させていただく予定です。なお、当社の株主配分方針は、中期経営計画におい

て、配当・自社株買いを合わせた総分配性向6割を目標としており、配当政策については長期的な増配を目指すことを基本方針としています。

### 中期経営計画の進捗状況

#### 地域密着型営業体制の早期確立

昨年度から進めてきた東京ガスライフバル体制への変革は、本年10月をもちまして、全63ブロックで新体制への移行を完了しました。こうした地域密着型営業体制を軌道に乗せ、接点業務を通じたお客さまとの密接な関係づくりをベースに、多様化・高度化するニーズにきめ細かく対応し、ガスならではの価値を提供できる体制こそが、新たな発展の原動力になると確信しています。

#### 環境を機軸とした価値創造への取り組み強化

今年度から一般販売を開始した家庭用燃料電池「エネファーム」は、家庭分野における地球温暖化対策の切り札として、住宅業界やエンドユーザーからの期待も高まり、市場形成の重要な段階を迎えていることから、2009年度の販売目標を1,500台から2,100台に引き上げました。

(単位：億円)	2009年 3月期	2010年 3月期 見通し	増減率 (%)
ガス販売量 (億m <sup>3</sup> )	139.4	135.0	-3.2
売上高	16,601	14,070	-15.2
営業利益	652	720	+10.4
経常利益	583	720	+23.4
当期純利益	417	480	+15.1

(2009年10月以降の原油価格70ドル/バーレル、  
為替レート95円/ドルを前提に算定)

## 「安心・安全・信頼」のブランド価値の向上

一方で、燃料電池など天然ガスの高度利用を柱としたエネルギーシステムやサービスを提供していくこれからの時代において、「安心・安全・信頼」のブランド価値はますます重要性を増しています。そうした中、経年導管の取替促進、お客さま先での安全に関する点検・周知の徹底、安全型機器の普及加速など、保安対策を確実に実施しています。加えて、ライフラインを預かる公益企業として、地震対策等万全の備えを行い、「安心・安全・信頼」のブランド価値を揺るぎないものとすべく取り組んでいます。

## 今後の展望

### 低炭素社会に向けたエネルギー政策の 新たな潮流への対応

こうした取り組みと併せ、新政権のもとで



経済産業省の「水素・燃料電池実証プロジェクト」にて建設された都内初の定置式水素ステーション



は環境面でのさまざまな政策変更が予想され、天然ガスの環境優位性がますます評価されるチャンスとなり得る一方、低炭素社会における天然ガスの位置づけを確かなものにする重要な時期であるといえます。こうした時代において重要なことは、今後のエネルギー政策の新たな潮流、そして将来の低炭素社会の具現化を見据えて先進的にチャレンジをはじめることだと認識しています。

世界の天然ガス市場の急激な変化に対応し得るLNGの調達戦略をはじめ、上流から下流までの強靱なLNGバリューチェーンの構築、燃料電池などの高効率コージェネレーションの開発、再生可能エネルギーと天然ガスエネルギーの融合から熱と電気の最適利用を目指すスマートエネルギーネットワーク\*の構築、さらに水素利用技術の開発など、特に天然ガスの高度利用を徹底的に追求し、かつ将来の事業変革を見据えた技術革新に注力していく所存です。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 特集 Excellent Service ～お客さま価値の向上を目指して



東京ガスグループは、中期経営計画の重点戦略の柱として「3つのE」を掲げています。そのひとつである「お客さま価値の向上 (Excellent Service)」では、お客さまとの距離をこれまで以上に縮め、さまざまなニーズに合わせてより質の高いソリューションやサービスを提供する一方、ガス機器・導管の安全対策や地震防災対策を強化することにより、「安心・安全・信頼」のブランド価値のさらなる向上を目指しています。

1

### 家庭用サービスのワンストップ化

#### 地域密着型の新体制「東京ガスライフバル」、全社始動

東京ガスは、多様化するライフスタイルやニーズにきめ細かくお応えするため、「東京ガスライフバル」を順次設立し、東京ガス、エネスタ、東京ガス・カスタマーサービスの3者がそれぞれ行っていた営業・サービス機能の再編・集約を推進してきました。

2008年4月からスタートしたこの取り組み



俳優の妻夫木聡さんが出演するライフバルCM  
(2009年10月より関東ローカルにて放映中)



みは、2009年10月に東京・神奈川・千葉・埼玉エリア計63ブロック（45法人）の設立をもって、当初計画どおり全社始動となりました。

これにより、今まで以上に身近な存在として、一人ひとりのお客さまのご要望を深く掘り下げ、「生活価値向上」に資する商品・サービスをワンストップで提供できる体制を整えることができました。

## 安心、快適にガスをご利用いただくための サービスを充実

- ☑ ガス設備の点検などサービス要員を増やし、お客さまとのコミュニケーションの充実に努め、土曜日・日曜日も含めたサービス体制の充実を図っています。
- ☑ 電話受付体制を一層向上させ、地域のお客さまからの問い合わせをワンストップで対応できる双方向のコミュニケーションを目指しています。また、ガス機器修理の電話受付を365日24時間体制で実施していきます。
- ☑ ブロックごとに体験型ショールームを設置し、最新のガス機器の安全性・快適性やガスを使った料理教室の開催など、生活価値向上に役立つ情報を発信していきます。

(2009年10月1日現在、32カ所に設置)

## 東京ガスライフバルのワンストップサービス



### VOICE ひとこと

東京ガスライフバルは「東京ガスの顔」  
お客さまのニーズにより迅速に対応し、  
ご満足いただけるサービスを提供できる  
ようになりました。お客さまにとって東京ガスライフ  
バルは「東京ガスの顔」。お客さまとのコミュニケーシ  
ョンを大切にしながら、身近なパートナーとして、これか  
ら安心・安全・快適なサービスを提供していきます。



東京ガス株式会社  
協力企業サポート部長  
高松 勝  
ライフバル体制推進責任者

東京ガスライフバルについてのさらに詳しい情報は、ホームページをご覧ください。



<http://home.tokyo-gas.co.jp/lifeval/about/>

## 特集 Excellent Service

2

### エネルギーの高度利用を促進 「総合エネルギー事業」への進化を目指す



世界最大級の地域  
冷暖房センターで  
ある新宿新都心

#### 価値あるソリューションを提案

東京ガスグループは、これまで培った技術力・エンジニアリング力を最大限活用し、省エネ・省コスト化、CO<sub>2</sub>排出量削減はもちろん、都市ガスと電力などエネルギーのベストミックスに関するコンサルティングまで広範囲にわたって、高度化・多様化するお客さまニーズに価値あるソリューションを提案する「総合エネルギー事業」を推進しています。

#### 産業用・業務用営業の高付加価値化、ENAC

エネルギーアドバンス（ENAC）は2002年、産業用・業務用にエネルギーの高度利用を提案するソリューションプロバイダーとして、東京ガスから分社して誕生しました。

#### VOICE

ひとこと



#### 「個性的な答え」を提案

どのようなエネルギーが求められているのか。効率的にご提供するにはどうすべきか。ENACでは「お客さまのニーズ＝個性」と考え、お客さまそれぞれに合った「個性的な答え」を提案しています。

株式会社エネルギーアドバンス エンジニアリング部  
ボイラサービスプロジェクトグループマネージャー

松本 幹雄 富士フイルム神奈川工場様の営業・技術担当

そして現在、東京ガスグループと連携し、電気・ガスといったエネルギーのみならず、水・空気など多様なニーズにワンストップでお応えする「総合ユーティリティサービス」会社へと進化しつつあります。

具体的には、設備の提案・設計から、設備工事、燃料調達、24時間365日の遠隔監視、メンテナンス、運転管理、廃棄物処理・水処理にいたるまで、お客さまの期待に総合的に対応しています。また、東京ガス時代から35年以上にわたり提供してきた「地域冷暖房\*」も、大型ガスエンジンコージェネレーションを導入することにより、電気供給を加えた本格的な「地域エネルギーサービス」へ転換させるべく注力しています。

#### 富士フイルム神奈川工場様より一括受託

ENACは2009年9月、富士フイルム神奈川工場様より、燃料の100%天然ガス化に伴う新たな天然ガスボイラの導入から既設の発電設備を含めた運転・管理を一括して受託しました。燃料の100%天然ガス化により、重油使用時に比べ、年間約16%（5万6,000トン）のCO<sub>2</sub>排出量の削減が見込まれます。

ENACについてのさらに詳しい情報は、  
ホームページをご覧ください。



<http://www.energy-advance.co.jp/>





## 3

## 安全対策・地震防災対策の強化

## 快適エネルギーをいつでも安心してお使いいただくために



Siセンサーを搭載したガスコンロ

## 世界屈指の災害対策

東京ガスでは、地震などの災害に備え、ガスの製造・供給に関わる主要設備を、阪神・淡路大震災クラスの大地震でも十分耐えられる構造にしています。

また、地震発生時には被害状況に応じて地域をブロック単位で供給停止し、二次災害を未然に防ぎます。約1km<sup>2</sup>に1基という高密度（約4,000カ所）にセンサーを設置しており、地震を感知すると自動的に供給遮断する他、地震防災システム「SUPREME」によって遠隔操作することもできます。高精度な地震情報を短時間で把握できるため、保安レベルも格段に向上しました。

今後も、設備の耐震性強化に努めるとともに、災害時のさらなる復旧早期化を目指します。

## 安全対策の一層の強化

お客さまに安心して都市ガスをお使いいただけるよう、設置時期の早い経年管のうち、取り替えなどの対策が必要な管について、2015年度までに対策を完了させる予定です。また、法に定められている3年に1回の検査に加え、自主的な点検を1年に1回の頻度で実施しています。

お客さま敷地内に埋められた管についても、年を経ると腐食が進行するものは、約20年を取り替えの目安として、腐食・地震に強い管への交換をご提案しています。

また、機器の安全対策として、安全型ガス機器への取り替え促進や点検を強化するとともに、より高度な安全型ガス機器の開発・普及に注力しています。

VOICE  
ひとこと

## ガス機器安全対策の強化

ゴム管が切れたり外れたりして異常な量のガスが流出すると自動的にガスを止めるヒューズガス栓や、吹きこぼれや油の発火など調理中のアクシデントもカバーする「調理油加熱防止装置」「立ち消え安全装置」「コンロ・グリル消し忘れ消火機能」のついた「Siセンサーコンロ」など、東京ガスのガス器具やガス設備には、「安全を見守る」多彩な安全装置がついています。

東京ガス株式会社 リビング企画部  
リビング技術 企画グループ  
渡辺 利沙

ガスコンロなどガス機器の商品企画を担当



安全対策・地震防災対策のさらに詳しい情報は、ホームページをご覧ください。



<http://www.tokyo-gas.co.jp/safety/>

# TOKYO GAS NEWS

東京ガス ニュース

## ゴーン・プロジェクトへの 最終投資決定

オーストラリアの大型LNG事業「ゴーン・プロジェクト」に約340億円を投資することを決定しました。これはプロジェクトの事業者（シェブロン、エクソンモービル、シェルの3社）が、総工費約430億オーストラリアドル（約3兆4,000億円）の最終投資決定を行ったことを受け、当社の参画比率（1%）に応じた投資をするものです。ゴーン・プロジェクトは年間1,500万トンのLNGを生産する計画です。2014年度に生産開始を予定しており、当社も110万トンのLNGを購入する契約を締結しています。



ゴーン・プロジェクトは、西オーストラリア州北西部沖合に位置し、近郊にはブルート・プロジェクト、西豪州プロジェクトがあります

### 事業関連

2009年

6月

7月

8月

### CSR関連


## 環境保全ガイドラインを改定

当社は、低炭素社会の実現、循環型社会の形成、自然共生社会の構築へ向け、課題と目標を明示し、具体的な取り組み内容を掲載した「環境保全ガイドライン」を策定しています。今回、これまでの「温暖化対策」「資源循環」「グリーン購入」の3つの柱に「生物多様性保全」「環境コミュニケーション」「環境関連技術開発」を新たに加えて、改定を行いました。



自然体験活動を通じて環境について考える「どんぐりプロジェクト」

東京ガス事業関連についての詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

 <http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/list.html>



東京ガスライフバル社員による検針

藤岡市・高崎市ガス企業団の  
一般ガス事業民営化の優先交  
渉権者に東京ガスが選定

## 「東京ガスライフバル」 体制が完成

詳しくはP5~6『地域密着型の新体制  
「東京ガスライフバル」、全社始動』をご覧  
ください。

## 新生「東京ガス山梨」がスタート

東京ガスグループの山梨県内における  
事業再編として、東京ガス山梨株式会  
社は、東京ガス甲府支社を統合し、LPガ  
ス事業に加え都市ガス事業を一体運営す  
るエネルギー供給会社として地域に密着  
した営業・サービスを開始しました。

9月

10月

## 「東京ガスグループ CSR報告書2009」を公開

事業活動を通じて、企業の社会的責任（CSR）を  
果たしていくための、取り組みをまとめた「東京ガ  
スグループCSR報告書2009」を当社ホームページ  
に公開しました。

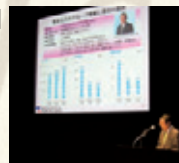
「東京ガスグループCSR報告書2009」は  
以下のURLからご覧いただけます。

 <http://www.tokyo-gas.co.jp/csr/>

## 「ディスクロージャー 優良企業」を受賞

「平成21年度 証券アナリストによるディス  
クロージャー優良企業選定 個人投資家向け情  
報提供の部」において、優良企業に選定されま  
した。これは個人投資家向け会社説明会、ホー  
ムページによる開示、事業報告書等の内容の3  
分野で評価され、今回で2回  
目の受賞となりました。

三菱UFJ証券主催の個人  
投資家向け合同説明会  
「丸の内投資セミナー」のもよう



## 連結決算のご報告

### 2010年3月期第2四半期 連結決算のポイント

- 売上高は、ガス販売量の減少に加え、油価動向を反映した原料費の減少によりガス料金単価が低下したため、前年同期比14.6%減の6,320億円となりました。ガス販売量は、景気低迷により工業用および商業用需要が減少したことや、春先の高気温による家庭用の給湯需要と夏場の低気温による商業用の空調需要が減少したことにより前年同期8.4%減の6,166百万m<sup>3</sup>にとどまりました。
- 収益面では、原料費の減少によりガス粗利が大幅改善となったうえ、費用の抑制も図り、営業利益は559億円改善の464億円となりました。さらに為替差益の発生もあり、経常利益は同619億円改善の505億円、当期純利益は同343億円改善の327億円となりました。

### 連結財務諸表のポイント

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 2009.4.1～2009.9.30	前第2四半期累計期間 2008.4.1～2008.9.30	増減率 (前年同期比)
売上高	632,074	740,057	-14.6%
売上総利益	272,082	208,335	+30.6%
営業損益	46,444	-9,555	—
経常損益	50,594	-11,462	—
純損益	32,743	-1,675	—

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2009.9.30	前期末 2009.3.31	増減額 (前期末比)
固定資産	1,366,305	1,352,068	+14,237
流動資産	355,928	412,117	-56,189
固定負債・流動負債	906,121	979,568	-73,447
(有利子負債残高)	562,239	593,230	-30,991
純資産	816,113	784,616	+31,497
総資産	1,722,234	1,764,185	-41,951

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 2009.4.1～2009.9.30	前第2四半期累計期間 2008.4.1～2008.9.30	増減額 (前年同期比)
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,381	-9,558	+155,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	-82,544	-84,776	+2,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	-48,813	100,929	-149,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,645	48,686	+31,959

## 経営指標

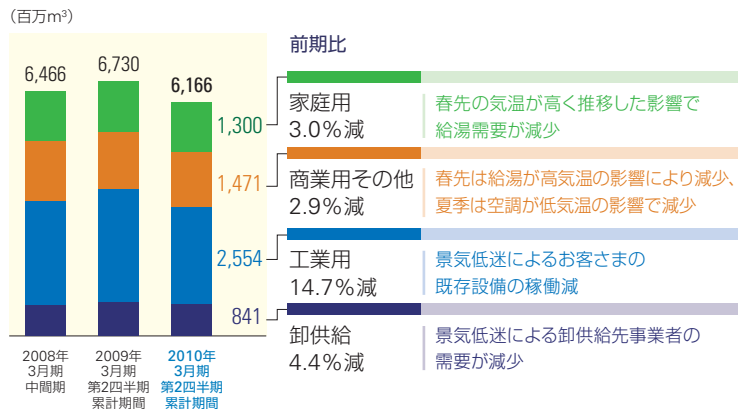
	当第2四半期 累計期間 2009.4.1~2009.9.30	前第2四半期 累計期間 2008.4.1~2008.9.30	
ROE	4.2%	-0.2%	[当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均)]
ROA	1.9%	-0.1%	[当期純利益 ÷ 総資産 (期首・期末平均)]

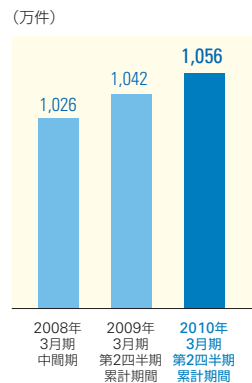
	当第2四半期末 2009.9.30	前期末 2009.3.31	
自己資本比率	46.7%	43.8%	[自己資本 (期末) ÷ 総資産 (期末)]
D/E レシオ	0.70	0.77	[有利子負債 (期末) ÷ 株主資本 (期末)]

## ガス販売実績

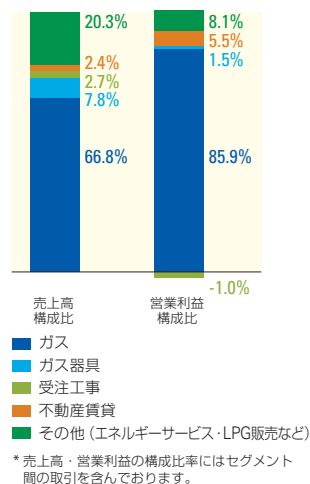
国内経済が低迷する中、工業用需要の減少などにより、前年同期比8.4%減の61.6億m<sup>3</sup>にとどまりました。



## お客さま件数(連結)



## 事業セグメント別概況



より詳細な財務情報をご希望の方は、東京ガスホームページに掲載している決算短信をご利用ください。

[http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/earn\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/earn_j.html)

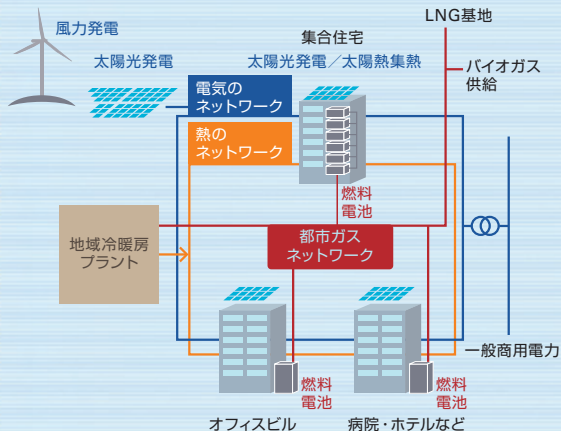
# 東京ガス事典



## 「スマートエネルギーネットワーク」

### とは？

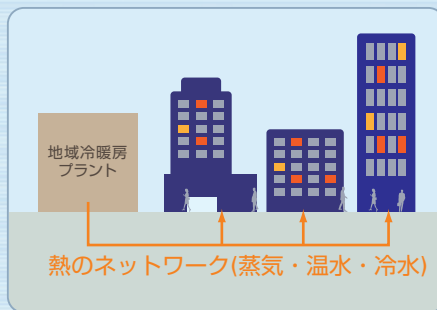
太陽光発電、風力発電などの分散型の新エネルギーには、環境性に優れているものの、供給が不安定という弱点があります。これを、電力・都市ガスといった大規模ネットワークが補完しながら、エネルギー供給構造の転換を進めていくのがスマートエネルギーネットワークの考え方です。エネルギーの効率的利用や新エネルギーの有効活用を促進することで、低炭素社会の実現に貢献できると大きな期待が寄せられています。



## 「地域冷暖房」ってなに？

通常、建物の冷暖房はそれぞれの建物で個別に行われますが、地域冷暖房は中央プラントで冷暖房・給湯用の蒸気、温水や冷水をつくり、配管によって一定地域内の建物群に供給するシステムです。地域冷暖房のメリットとして、エネルギーや熱源設置スペースの有効活用、環境負荷の低減、熱の安定供給、街の防災・安全性の向上などがあげられます。

東京ガスグループは現在、世界最大級の冷凍能力を誇る「新宿新都心」をはじめ、熱・電気も供給する地域エネルギーサービスを実現した「幕張新都心」など、首都圏を中心に「地域冷暖房」を展開しています。



ガスに関するもっと詳しい情報については「ピピッと！ガス百科」をご覧ください。



<http://www.tokyo-gas.co.jp/encyclopedia/index.php>

## 会社情報 (2009年9月30日現在)

### 会社概要

商号	がす 東京瓦斯株式会社
本社所在地	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20
創立	1885(明治18)年10月1日
従業員数	7,663人(連結15,880人)

注：従業員数は常勤の就業数を記載しており、出向者及び臨時従業員を含みません。

格付け	AA+ (R&I：格付投資情報センター) Aa1 (ムーディーズ) AA (スタンダード&プアーズ)
-----	--

連結子会社 61社  
持分法適用関連会社 4社

### 取締役および監査役

取締役会長	取締役 (常務執行役員)	常勤監査役
市野 紀生	村木 茂	高桑 康典
代表取締役社長 (社長執行役員)	蟹沢 俊行	森 邦弘
鳥原 光憲	大谷 勉	社外監査役 森 昭治
代表取締役 (副社長執行役員)	広瀬 道明	増田 幸央
前田 忠昭	社外取締役 山本 一元	大澤 正之
岡本 毅	本田 勝彦	
	稲田 早苗	

### 執行役員

常務執行役員	福本 学	三神 正博
星野 則和	幡場 松彦	久保田 宏明
板沢 幹雄	執行役員 前川 耀男	円角 健一
林 洋和	青沼 光一	高橋 秀文
吉野 和雄	救仁郷 豊	尾花 秀章
渡辺 尚生		小林 裕明

### 株式の状況

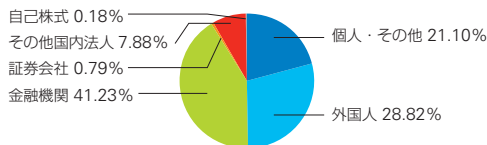
資本金	141,844,398,888円
発行可能株式総数	6,500,000,000株
発行済株式の総数	2,717,571,295株
株主数	160,837名

### 大株主

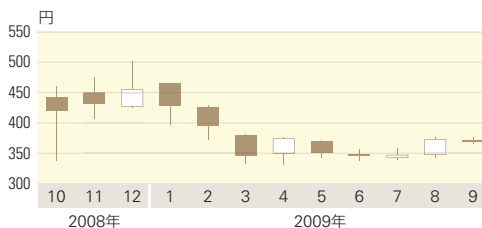
株主名	持株比率 (%)	持株数 (千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6.42	174,181
日本生命保険相互会社	6.01	163,000
第一生命保険相互会社	4.44	120,472
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4.39	119,216
富国生命保険相互会社	2.53	68,504
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1.85	50,068
東京瓦斯社員持株会	1.48	40,246
ザチェース マンハッタンバンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1.37	37,262
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託第一生命保険口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1.31	35,490
メロンバンク エヌイー アズ エージェントフォー イット クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	1.19	32,348

注：持株比率は自己株式(4,966,880株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



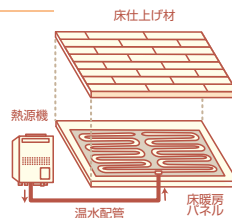
### 株式の推移 (東京証券取引所)





### 「ガス温水床暖房」

熱源機でつくったお湯を温水マットに循環させる、温水式の床暖房。風もなく、床からお部屋全体を暖めるので、体にやさしく、とても快適です。新築のみならず、今のお住まいにフィットする後付けタイプも充実、インテリアに合わせて床材を選ぶこともできます。おトクなガス料金「暖らんぷらん」もご利用いただけます。



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日、中間配当：毎年9月30日
証券コード	9531
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号
郵便物送付先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

## 上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降の配当金について株主さま宛てに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証でお受取りの株主さまへは年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたします。口座振替を指定されている株主さまにつきましては、配当金支払の際に送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際に、添付資料としてご使用いただけます。

## 株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種手続は、お取引の証券会社でのお取扱いとなります。

なお、保有株式が特別口座で管理されている場合は、特別口座管理機関の中央三井信託銀行株式会社でのお取扱いとなります。[TEL 0120-78-2031（受付時間：平日9:00-17:00）]

## 東京ガス株式会社

 <http://www.tokyo-gas.co.jp/>

東京ガス通信に関するお問い合わせ

**TEL 03-5400-3888** IR部IR室

その他のお問い合わせ

**TEL 03-5400-3894** 総務部総務グループ